

# 市議会だより



発行 伊東市議会 議長 宮崎雅薫  
 編集 議会報編集委員会  
 伊東市議会事務局  
 電話32-1981(直通)FAX38-6916

大室山



～伊東エリアには15のジオサイトがあります～ その3

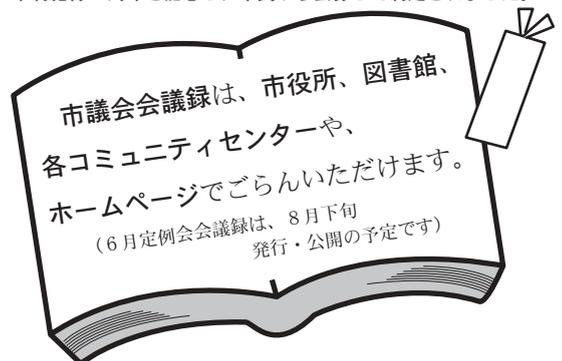
—碧湖

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。  
 つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

## 主な内容

- 6月定例会の概要 …………… 【P.2】
- 一般質問（10議員が登壇） …………… 【P.4】
- 常任委員会だより …………… 【P.11】
- 特別委員会中間報告 …………… 【P.12】



# 平成25年6月定例会

## 20件の議案等を審議、決定

6月定例会を6月10日から6月25日までの16日間の会期で開会しました。

### ■市議会6月定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法の一部改正に伴う改正について平成25年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	賛成多数で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法の一部改正に伴う改正について平成25年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法の一部改正に伴う改正について平成25年3月31日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第4号	平成25年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第1号)専決処分の報告承認について	平成25年度の歳入から2億9,210万7,000円の繰上充用に係る専決処分を平成25年5月29日に行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第1号	平成24年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について	平成24年度予算の一部(介護予防・生きがい活動支援事業など14事業:3億7,652万円)を平成25年度に繰り越したことの報告	市長	(報告、質疑のみ)
市報第2号	平成24年度伊東市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越し報告について	平成24年度予算の一部(管きょポンプ場建設事業など2事業:9,200万円)を平成25年度に繰り越したことの報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第1号	伊東市新型インフルエンザ等対策本部条例	新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行されたことに伴い、伊東市新型インフルエンザ等対策本部の設置に必要な事項について制定	市長	賛成多数で可決
市議第2号	伊東市職員等退職手当支給条例等の一部を改正する条例	退職手当支給算定に当たり、調整率の段階的な引き下げや、退職手当支払い後、在職期間中に懲戒免職処分を受けるべき行為があったと認められた場合に、当該退職者に対して退職手当の返納を命じる措置などを定めるとともに引用条項ずれの整理をするための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第3号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	地方税法の一部改正に伴い、個人市民税においては住宅ローン控除に係る適用期間の4年延長等、固定資産税においては「わがまち特例」(地域決定型地方税制特例措置)の導入に伴う課税標準の特例割合を定める規定の追加、そのほか延滞金に係る割合変更や申請に対する処分及び不利益不処分の際、その理由を付記することなどについて定めるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第4号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例	「わがまち特例」の導入に伴い、都市再生特別措置法に規定する管理協定の対象となった備蓄倉庫に関する課税標準の特例割合を定めるとともに、附則の項ずれを整理するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第5号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	地方税法の一部改正に伴い、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地の譲渡について、相続人が譲渡した場合も譲渡の特例を受けることができることとするための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第6号	税外諸収入に対する延滞金の割合の変更に関する関係条例の整備に関する条例	地方税法の一部改正に伴い、地方税の延滞金の割合を変更する規定が平成26年1月1日から施行されることから、所要の改正を行うもので関係条例(全8条例)を一括改正	市長	全会一致で可決
市議第7号	伊東市体育施設整備基金条例	体育館の建設等、今後本市が取り組む体育施設整備の財源とするため、伊東市体育施設整備基金を設置	市長	賛成多数で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第8号	伊東市防災会議条例及び伊東市災害対策本部条例の一部を改正する条例	災害対策基本法の一部改正に伴い、防災会議条例において所要の改正を行うとともに、災害対策本部条例における引用条項ずれを整理するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第9号	駿東伊豆地区消防通信指令事務協議会の設置について	消防救急デジタル無線の移行期限に間に合わせるため、消防通信指令施設等に関する事務を管理及び執行し、広域的な消防通信指令体制を構築することを目的に、関係団体による協議会を設置するための議決	市長	賛成多数で可決
市議第10号	平成25年度伊東市一般会計補正予算(第1号)	道路舗装点検委託料、シニアプラザ桜木建設地の隣接地購入経費、施設入所者等実態調査委託料、体育施設整備基金積立金を計上するほか、首都圏における大手エージェントとの大型現地説明会を開催するための特別誘客宣伝委託料の追加など、財源については、国庫補助金等とともに財政調整基金繰入金を充当するなど、5,387万5,000円の追加	市長	賛成多数で可決
市議第11号	伊東市功労者表彰について	佐藤美音氏(宇佐美)	市長	全会一致で可決
発議第1号	重度障害者(児)医療費助成制度における精神障害者の適用改善を求める意見書	静岡県知事に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第2号	ホテル旅館業の建物に係る固定資産税について、評価基準の見直し等を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決
発議第3号	建築物の耐震改修の促進に関する意見書	内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、観光庁長官、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員7名	全会一致で可決

本会議で  
行つた討論  
(概要)

■伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決  
処分の報告承認について

《反対》重岡秀子議員  
株式等における配当所得等の税率が本則課税どおりの二割になることには賛同するものの、消費税の増税が予定される中、株式等に投資することのできるゆとりのある方は、応分の税負担をすべきであり、今回の緩和措置には、反対する。

■伊東市職員等退職手当支給条例等の一部を改正する条例

《反対》重岡秀子議員

今回の改正は、人事院勧告もなく、官民格差の調査のみを根拠にした国の政策的なものであり、増加する非正規労働者や消費税の増税に対する国民の批判をそらすためのものである。不況の時だからこそ、ま

には、市職員の仕事は重要であると考え、反対する。

■伊東市体育施設整備基金条例

《反対》森篤議員

第四次総合計画で総合体育館の建設に向けて調査・研究を進めるとしているのだから、精力的にこれを進めてその方向性を明確にし、市民の皆さんの理解を得た上で、当該基金の設置を提案すべきであり、今定例会への提案は唐突である。自治体経営にとつて最も重要な政策形成プロセスが欠如していることを理由として、反対する。

《賛成》正風改革クラブ

健康保養地づくり等の目的達成のためには、総合体育施設の建設など施設の整備、充実が不可欠である。本条例案は、総合体育施設の建設における財政上の問題を解決する第一歩であり、施設建設に対する前向きな姿勢のあらわれである。これを機に健康回復都市伊東をアピールしつつ、市民の健康増進も図られること

を要望し、賛成する。

《反対》伊東元気の会

スポーツ交流を通して、地域活力を生み出すまちづくりや観光振興策を推進するための総合体育施設新設を切望する。しかし、本条例案は、本来、一般会計予算で担うべき既存の体育施設の改修や修繕に要する経費も、基金から充当できる。新設等の実現には、財政的理由から、基金の運用目的を大きな事業に限定する必要があると考え、反対する。

《反対》重岡秀子議員

基金により整備を目指す施設は、生涯学習が目的なのか、誘客も視野に入れた総合体育館なのか、その構想は、余りにも漠然としている。限られた財源の中、どのような施設が効果的であるのか、優先順位等も含めて十分な調査・研究を行い、施設の構想を明確にした上で、市民に理解される基金を設定すべきであると考え、反対する。

※1 会派構成議員～浜田修一郎議員、榎本元彦議員、佐山正議員、井戸清司議員、◎佐々木清議員、西島彰議員、宮崎雅薫議員、土屋進議員(議席順、◎=会派代表者。以下同様)

※2 会派構成議員～◎横沢男議員、杉本一彦議員

■駿東伊豆地区消防通信指令  
事務協議会の設置について

《反対》森篤議員

デジタル化した通信を複数の自治体で統合し運用することは、消防救急広域化と一体不可分であると理解することから、その是非もあわせて判断しなければならぬ。消防救急広域化については、その意義、経費と政策論の関係等、六つの視点から反対である。

通信のデジタル化は、本市独自でシステムを構築すべきと考える。

《賛成》公明党

消防指令業務の共同化は、情報一元化による迅速な相互応援体制や効率的な職員配置・維持費等の利点がある。また、明瞭な音声等を瞬時かつ的確に伝達する等、強い消防通信基盤を整備するため、消防救急無線デジタル化の必要性が示されている。市民の安心・安全や職員の士気高揚のため、将来への第一歩になることを期待し、賛成する。

《反対》重岡秀子議員

※3 会派構成議員～◎鳥居康子議員、長沢正議員、楠田一男議員

消防無線デジタル化の整備計画は、消防救急広域化の構成地域と同一であることから、前提となる広域化について検討すべきであるが、広域化に係る本市の考えも示されず、かつ、資料提供もない中では、十分な審議もできない。

広域化の是非については、市民にも広く意見を聞き、さまざまな角度から審議されることを訴え、反対する。

《賛成》民主党・刷新の会

議案提出の手順の悪さや説明不足など、誤解を招いた責任は重大であるが、航空消防防災体制等の高度化や専門化に対応するための財源確保や人財育成が求められる中、本条例案と不可分である消防救急広域化は、本市の消防体制を見直すよい機会になると考えるため、今回の反省に立ち、今後、議会への報告を強く要望しつつ、賛成する。

■平成二五年度伊東市一般会計補正予算（第一号）

《反対》重岡秀子議員

市議第七号にあわせ反対。

※4 会派構成議員～四宮和彦議員、◎鈴木克政議員、浅田良弘議員

# 一般質問

## 10議員が登壇/市政全般について質問

(登壇順に掲載)

伊東市民病院の駐車場利用料金について、利用状況を検証する中で、見直しをする考えはないか伺う



正風改革クラブ  
土屋 進 議員

新市民病院の駐車場利用

料金については、平成二四年一二月定例会の伊東市民病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の中で規定され、受診された方は一回ごとに二〇〇円、その他の方は一時間ごとに三〇〇円と設定し、「駐車場利用料金は、最初の三〇分までは無料とする」、「駐車場利用料金は一日当たりの最高限度額は、二〇〇〇円とする」として、賛成多数で可決された。

さらに、駐車場利用料金の設定に関し、平成二五年二月の常任福祉文教委員会協議会において、お見舞いをされる方等は一時間まで

三〇〇円であるが、以降二〇分ごとに一〇〇円としたことの報告がされた。

新市民病院が開院して三月月が経過し、市民から、市立病院であるにもかかわらず、駐車場利用料金が高すぎる等の意見がある中で、利便性や、料金設定等、利用状況を検証することによって、さまざまな課題が見えてくると思われる。

そこで、駐車場利用料金見直しについて、今後どのように考えていくのか伺う。年間を通じて収支が改善したならば、指定管理者とも協議していく

市長

新市民病院の駐車場の利用状況については、一日平均の駐車台数が五九〇台程度、一日平均の駐車場利用料金収入は九万一〇〇〇円程度であり、おおむね当初想定していたとおりの利用状況となっている。

駐車場利用料金の見直しについては、現状では、収支がほぼ均衡する状況であ



伊東市民病院駐車場

り、直ちに、料金を見直せる状況ではないと考えるが、今後、年間を通じて収支が改善したならば、駐車場利用料金見直しについて、指定管理者とも協議していく。

『その他の質問項目』

■旧伊東市民病院を保健福祉センターの移転先として活用すべきと考えるが、いかがか

■市民や観光客の憩いの場となつているなぎさ公園を、今後どのように整備し、活用していくか

■いでゆ橋の老朽化に伴う早急な対策及び、その際の周辺景観、温泉情緒に配慮したりリニューアルもあわせて進めていくべきと考えるが、いかがか

通学路等の交通安全対策の状況について伺う



公明党 長 沢 正 議員

京都府亀山市、千葉県館山市、愛知県岡崎市において、短期間に登校中の児童が交通事故に遭い、死傷者が出る事件が発生した。

このことを受け、文部科学省、国土交通省及び警察庁の三省庁が連携しての対応策が検討され、全ての公立小学校の通学路において、学校、警察、道路管理者が通学路の安全点検及び安全対策を講ずることについて閣議決定された。

本市では、通学路の安全対策について、それ以前から取り組まれてはいるが、平成二四年度に行われた「通学路緊急合同点検」による現在の対応状況を伺う。あわせて、通学路以外でも、交通安全対策を行った

箇所があれば伺う。

学校関係者、警察と道路管理者が連携し、地域の協力を得る中で、安全・安心な道路環境を目指している

市長

通学児童を守る学校周辺の通学路の整備は、あんしん通学路施設整備事業により、学校関係者、警察と道路管理者が連携し、小・中学校の児童・生徒や保護者の意見を伺い、地域の方々の協力を得る中で、危険な箇所を洗い出し、平成二一年度から安全対策工事を実施したところであり、今年度からは、玖須美地区内において実施する計画である。

また、昨年実施した通学路緊急合同点検において、対策が必要な市道は一四カ所、そのうち一〇カ所は実施済、三カ所は実施中であり、残りの一カ所は、今年度実施予定である。

さらには、通学路緊急合同点検とは別に、毎年、交通安全施設費を予算計上し、歩道整備、歩行帯のカラー

舗装化や歩行者の巻き込み防止用のポールの設置などを行い、安全で安心な道路環境を目指している。

『その他の質問項目』

■災害対策基本法の改正に伴う取り組み

・業務遂行、事業継続に係る対策

・災害弱者支援策の強化としての要援護者の名簿作成の義務化等

・罹災証明書の速やかな発行のための体制づくりと職員の育成

■買い物弱者への支援策

■道路工事等の市民への周知方法

■学校施設の落下防止策

■学校給食のアレルギー対策



安全対策工事（宇佐美）

中学校給食完全実施を明言されたその真意と、「伊東市学校給食運営計画」の新たな計画策定スケジュールや具体的な内容について



民主党・刷新の会 四 宮 和 彦 議員

市長は、選挙公約において「学校給食の『親子方式』<sup>※5</sup>による食育の充実」を掲げるにとどめていたが、当選直後、今任期中に中学校給食の完全実施を明言されたその真意を伺う。

中学校給食の実現に当たっては、昨年策定された「伊東市学校給食運営計画」の内容が、実質的に児童・生徒数の減少に伴う合理化計画であり、教育的視点からなる学校給食の充実とは異なる趣旨のものである。南中学校のように生徒数が多く、その上、近隣小学校において給食を提供できない場合は、親子方式に

※5 親子方式～調理する学校を親、配送される学校を子とする方式

よる中学校給食の提供は困難である。さらに、計画の核心部分である親子方式の導入と民間委託が中学校給食の完全実施に直接関係しないことは、さきの定例会でも指摘したとおりである。中学校給食を実現させるためには、計画を見直す必要があると思われるが、新たな計画の策定スケジュールや具体的計画についてどのように考えているか伺う。

今任期中の中学校給食完全実施に一定のめどが立ったことから明言し、また、現段階では当該計画を見直す考えはなく、具体的な実施方法について検証していく

市長

中学校給食の実施に当たり、新たな施設や人的体制等が必要となる中、既存の施設や体制を最大限に活用し、後々の負担を最小限に抑える手法を念頭に検討を進めてきた。これら検討結果をまとめた「伊東市学校給食運営計画」は、親子方式による食育の充実を推進

するものであり、計画の実行により、中学校給食の実施に一定のめどが立ったものと捉え、今任期中の中学校給食完全実施を明言した。「伊東市学校給食運営計画」については、共同調理場の導入を進めるなど、基本的な考え方に変わりがないことから、この計画を踏まえて、具体的な実施方法を検証していきたい。

『その他の質問項目』

■選挙公約における「文化の薫り漂うまちづくり事業の積極的推進」について

■施政方針における「観光都市から感動都市へ」の具体的事業及び映像コンテンツの活用に係るメディア戦略について



門野中学校の給食

第二回ANJINサミットの開催に向けた準備日程や実施内容について伺う



正風改革クラブ 佐々木 清 議員

今春四月八日に横須賀市の三浦按針にちなんだお祭りとして有名な観桜祭において、三浦按針にゆかりのある横須賀市、長崎県平戸市、大分県臼杵市、伊東市の四市長が一堂に会し、交互に記念行事を開催するなど友好と交流を深め、按針の功績の顕彰や各市の魅力の発信を行うとする「ANJINプロジェクトパートナーシップ宣言」が行われた。あわせて、第二回ANJINサミットは来年八月に本市で開催することが決定された。

五月二五日に平戸市で開催された第一回ANJINサミットにおいて、佃市長が本市とのゆかりや、按針

自慢を披露されたとおり、徳川家康の命令により、松川河口で日本初の洋式帆船を建造したその歴史的な功績は大変大きく、県内においても、駿府城との関係から徳川家康と三浦按針を題材とした大河ドラマ化の期待が高まっている。

そこで、来年八月一日の按針祭にあわせて開催される第二回ANJINサミットに向けた準備日程や実施内容について伺う。

本年度の按針祭を検証しつつ、一〇月をめどに具体的な内容を決めたい

市長

第二回ANJINサミットの開催については、四月七日に横須賀市で開催されたANJINプロジェクト連絡協議会において、来年八月の第六八回按針祭にあわせ、本市で開催することを決定している。

準備日程や実施内容については、本年度の按針祭を検証する中で、按針祭執行委員会と協議を行うことも

に、ANJINプロジェクト連絡協議会を構成する臼杵市、横須賀市、平戸市と連携し、本年一〇月をめどに具体的な内容を決めていきたいと考えている。

『その他の質問項目』

■医療介護の対応について

・看護学校の誘致について

・医観連携システムの見通しについて

・高齢者支援施設の整備について

・地域包括支援センターの市街地への設置について

■玖須美保育園の移設について

■市内公立学校行事の日程調整について

■学区の見直しや統廃合について



第1回ANJINサミット（平戸市開催）

下水道事業に関し、起債の償還計画、現在の運営状況及び将来のあり方について見解を伺う



伊東元気の会  
杉本一彦議員

下水道接続人口は、本市総人口の三分の一未満であるにもかかわらず、毎年一般会計から約八億円もの繰り入れがされ、さらに、起債残高約一三〇億円という実情に鑑みて、特別会計としての独立性や、事業の妥当性に疑問を感じる。

また、将来の人口動態、高齢化社会の本格的な到来、それに伴う税収の見込み等から、現在の運営方法を継続していくことは厳しいのではないかと危惧する。

伊東市の新しい時代に向けたまちづくりのため、時代に即した国際観光温泉文化都市として、環境・観光に配慮した下水道システム

の構築と、事業計画の抜本的な見直しを願ひ、下水道事業における起債の償還計画、現在の運営状況及び将来のあり方について伺う。

効率的・効果的な事業運営にあわせ、安全で安心なまちづくりを推進していく

市長

下水道事業の起債残高は、平成二七年度末をピークに減少する見込みであり、今後の償還については、事業投資額と償還額との調整を図る中で進めていきたい。

また、認可区域に対する整備面積率が、伊東処理区で六六・九%、荻・十足処理区で五九・一%、管渠の延長が一三四kmを超える現状にある中、将来のあり方については、下水道未普及地域における、合併処理浄化槽設置補助事業等と連携し、効率的・効果的な下水道事業を図っていきたい。

さらに、施設の老朽化による事故は、市民生活や経済活動に多大な影響を及ぼすことから、施設の更生・

更新に取り組むこととあわせて地震対策に対応する等、安全で安心なまちづくりを推進していきたい。

『その他の質問項目』

■五月一九日に執行された

伊東市長選挙について

・投票率五五・〇六%をどのように分析しているか

・選挙結果をどのように分析し、市政に反映しているか

■今後の市政運営に関し、

児童・生徒数の減少を見据えて以下二点伺う

・小・中学校給食の体制は

将来の小・中学校の統廃合等も考慮する中で計画すべきではないか

・小・中学校の統廃合と学区編成について



湯川終末処理場汚泥焼却棟

宇佐美の公有地（臨海テニス場跡地と留田浜辺公園）の有効利用について



正風改革クラブ  
井戸清司議員

宇佐美の真ん中に位置する臨海テニス場跡地は、宇佐美区が管理をし、町内会長を中心に草刈りなどの整備をすることできれいな状態が保たれている。この土地は、ふるさとふれあい祭りや、夏祭りなど区民の努力とアイデアによって有効利用がされ、今や宇佐美区民のコミュニティーの場としてなくてはならない場所となつているが、今後この土地をどのように生かしていくか市長の考えを伺う。

また、留田浜辺公園において、五月二六日、宇佐美フェスタ二〇一三が盛大に開催され、フェイスタック等を通じ多くの方が来場し、二回目にして大成功をおさ

めた。同公園では、イベントなどが多く開催されており、地域の活性化に貢献していることから、これらイベントに対し支援をするとともに、施設の整備・充実を図っていくべきであると考えるが、いかがか。

地域の方々の意向を伺いながら、適切な活用方法について検討していく

市長

臨海テニス場跡地については、地域の方々に草刈りやごみ拾いなどの維持管理を行つていただく中、地域の方々のための行事等に使用する場合は、無料で使用していただいている状況で、将来的には、公共施設用地としての活用も含め、地域の方々意向を伺いながら、適切な活用方法について検討していく。

宇佐美留田浜辺公園については、海岸保全との調和を図りながら、市民や来遊客が海岸に親しむことのできる憩いの空間を提供することを目的に整備が行われ、



宇佐美留田浜辺公園

現在は、地域の方々が中心となつた催しや民間が開催する地域活性化につながるイベント等に利用され、多くの方が来場していることから、今後とも、これら利用者がより一層有効に活用できるように、地域の方々と協議をしながら、施設の環境整備を図っていく。

『その他の質問項目』

■市内経済を循環型にするため、入札や見積もり合わせ等の制度を改正すべきと考えるが、いかがか

■介護保険料を抑えるためにも、「サービスタク高年齢者向け住宅」などに対する本市独自の補助制度を創設することが望ましいと考えるが、いかがか

胃がん検診について、血液検査によるリスク判定に切りかえている地域があるが、本市の状況を伺う



公明党  
鳥居康子 議員

本市では、さまざまながん検診の受診率向上に取り組んでいるが、藤枝市では、今年度から簡単な血液検査による「ピロリ菌胃がんリスク判定」を導入し、従来の胃がん検診である「バリウム検査」を段階的に廃止していくとのことである。

胃がんの九八％はピロリ菌の感染が原因であり、この検査は、血液検査だけで、ピロリ菌の有無と胃の粘膜の萎縮度を調べ、胃がんにかかるリスクを判定するもので、従来のバリウム検査よりも身体的、経済的負担が少なく、受診率の大幅な向上が期待されると考える。藤枝市では、リスクの低

い順にAからDまで四段階で判定し、A判定では、胃がんにかかる可能性が極めて低いとし、それ以外の人には医療機関での除菌や内視鏡による精密検査を受けるよう促すとのことである。本年二月、ピロリ菌感染胃炎の除菌に保険適用が認められ、胃がんの発生から治療する二次予防から、ピロリ菌除菌の一次予防の拡大を期待するところであり、本市としても、この検査方法を導入すべきであると考え、いかがか。

医師会とも相談しつつ、本市の胃がん検診のあり方についても研究していく

市長

胃がん検診については、市民病院のほか、出張所等でも検診車によるバリウム検査を実施している。

近年、血液検査により、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮度を判断することで、胃がんのリスク判定をする

新しい検査法を導入している自治体もあるが、これだけでは検診は済まず、バリウム検査や胃力メラと併用する必要がある。

今後、この方法については、医師会とも相談しつつ、本市の胃がん検診のあり方についても研究していく。

『その他の質問項目』

- 再選を果たした市長の今後四年間の市政運営
- 今後の観光戦略の展望
- 中学校給食実施に向けた具体策
- 子育て支援、高齢者福祉に係る拠点整備について
- 保健福祉センターの整備に係る考え
- ・高齢者のよりどころとなる拠点の整備

■健診センター活用に係る具体策



市民病院健診センター内X線TV装置

消防団員の出勤手当に関し、地方交付税算入額と支給額に差があるが、見解を伺う



民主党・刷新の会  
鈴木克政 議員

総務省消防庁のホームページによれば、全国の消防団員数は、昭和四〇年の約一三三万人に対し、平成二三年には約八八万人まで減少している。また、被雇用者団員比率や、団員の平均年齢は上昇しており、団員のサラリーマン化や高齢化も進んでいると言える。

全国的にこのような傾向にある中、総務省消防庁ではキャンペーンを打つなど、団員の確保を図っており、消防団員の報酬及び手当に基き消防団員に対し、その苦勞に報いるための報酬及び出勤した場合の費用弁償としての出勤手当を支給している。支給額、支給方法

は、地域事情により、必ずしも同一ではないものの、支給額の低い市町村においては、これらの支給を定める制度の趣旨に鑑み、引上げ等、適正化を図る必要がある。」とし、さらに、報酬、出勤手当等の地方交付税算入額として、平成二二年度は出勤手当一回当たり七〇〇〇円と明記している。一方、本市の一回当たり

の出動手当は二三〇〇円と平成四年以来変わらず、支給額との間に大きな開きがあると考えるが、市長の見解を伺う。

消防団員への費用弁償の支給総額は、普通交付税算入額と比べ不足していない

市長 地方交付税算入額との差異については、平成二二年度に算定された本市の消防費の基準財政需要額は八億六六二九万七〇〇〇円で、消防費の歳出決算額一億三六二万七〇〇〇円に比べ、二億三七三二万六〇〇〇円少ない額となっている。

このうち、消防団員の出勤等の手当に係る基準財政需要額は一七六八万七〇〇〇円と算定され、非常備消防費及び水防費の費用弁償決算額一七二一八〇〇〇円と、同程度となっている。このことから、交付税上の単価差はあるものの、本市が消防団員に支給している費用弁償の総額が、普通交付税に算入される額と比べ、不足はしていないものと認識している。

『その他の質問項目』

■市民からの意見聴取の方法について

■市議会三月定例会における議員の発言に対する消防団長からの照会文書について



消防出初式（平成25年）

子供たちの教育の淵源の一つは幼児教育にあることから、幼児教育のさらなる充実と、この柱となる本市の基本方針を定めることについて伺う



森 篤 議員 (会派に所属していない)

昨今、小・中学校におけるいじめ問題がクローズアップされている。

小・中学校でのいじめ問題への対処は非常に重要であるが、就学前の幼児教育に大きな発生源が含まれていると考えることから、なお一層就学前の幼児教育に力を入れるべきではないか。

これにより、幾つかの根源的な問題が解決される可能性が高いと考えることから、教育長の見解を問う。

また、従来の幼児教育に係る指針等においては、幼稚園・保育園の経営に係る部分に主眼が置かれている。

これはこれで重要であるが、各園の経営だけにとどまらず、本市全体の幼児教育をいかにすべきかということについて、一層明確となる方針を定めるべきではないかと思うが、いかがか

保幼小連携プログラムを指針とし、系統性を意識した取り組みを推進していく

教育長

本市においても、小一プロブレムといわれる状況を示す子供が見られ、指導に苦慮するケースもある。

幼児期や小学校低学年の時期に、豊かに生きていくための基礎的な力を家庭・保育園・幼稚園・小学校の連携により育んでいくことが重要であると考え、人とかかわり・学び・健康など、確実に習得すべき能力を具体的に示したものである「保幼小連携プログラム」を平成二二年度に策定し、教職員の共通理解のもと、指導・支援の際の指針に掲げ改善に取り組んでいる。

また、保幼小が連携した研修会の開催や、小学校区内の重点指導内容を設定した上での実践など、計画的な子供の交流や職員間の情報交換の充実を図るなど、系統性を意識した取り組みを推進していく。

『その他の質問項目』

■職員の意識改革の方向性と質の高い行政サービスについて

■市長公室課では二台の庁用車を運用しているが、一方のリースが切れるのを待って、新たな自動車を調達すべきであったと考えるが、いかがか

■伊東市文化財保護条例見直しの状況を質す



富士見・さくら保育園（お誕生日会の様子）

「未来協知」とは何か、また、その実現のための具体策について伺う



重岡 秀子 議員  
(会派に所属していない)

佃市政三期目の方針である「未来協知」とは何か、そして、その実現のための具体的な方策について伺う。「未来協知」については、さきの市議会三月定例会における施政方針においても掲げられ、広報というの平成二五年四月号に市政運営のテーマとして市民に語られている。

さらに、五月一九日に執行された市長選の選挙公報でも候補補のキャッチフレーズとされている。そこで目指されていることはどんなものか、改めて伺う。

また、その目標を達成するために、どのような方策を考えているか伺う。

市民の皆様と行政が知恵を出し合い、未来を見据えたまちづくりを進めていくことである

市長

さきの市議会三月定例会でも答弁しているとおり、「未来協知」とは、市民の皆様と行政が知恵を出し合い、未来を見据えたまちづくりを進めていくことである。

今後、P・D・C・Aマネジメントサイクルを徹底していく中で、サマリーレビュー、戦略事業会議で十分な議論を行い、既存の事業の拡充を含め、新たな「未来協知」の施策を構築していく。

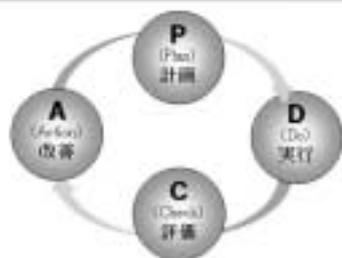
『その他の質問項目』

■伊東創造大賞で提案された今年度新規事業となった「ファミリー・サポート・センター事業」は、どのような計画で実施していくのか伺う

■おいしく、安全な学校給食の確保に向け、業者選考は重要な課題であり、

学校給食の調理業務等を委託する民間業者をどのような方法で、どのような観点から選考するのか、また、親子方式や民間への業務委託に移行するに当たっての課題について伺う

P・D・C・Aマネジメントサイクル (イメージ図)



学校の不自由な方に配慮した投票所のバリアフリー化が必要であると考え、いかがか

閉会中の議会活動

平成25年 3月定例会閉会後  
平成25年 6月定例会開会まで

平成25年

- 4月10日 議会報編集委員会
- 16日 常任観光建設委員会協議会
- 22日 議会改革特別委員会
- 5月 8日 常任観光建設委員会協議会
- 9日 常任総務委員会協議会
- 23日 議会改革特別委員会
- 24日 常任福祉文教委員会協議会
- 6月 4日 議会運営委員会

みんなで守ろう

三 ない 運 動

- 政治家は有権者に寄附を贈らない
- 有権者は政治家に寄附を求めない
- 政治家から有権者への寄附は受け取らない

議員や有権者が、次の行為を行うことは法令で禁止され、処罰の対象となりますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

- 1 政治家が選挙区内にある者に対して寄附をすること。
- 2 有権者が、威迫して、あるいは政治家を陥れる目的で寄附を求めること。
- 3 後援団体が、選挙区内にある者に対して花輪、香典、祝儀などを出すこと。
- 4 政治家が選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候のあいさつ状を出すこと。
- 5 政治家や後援団体が、選挙区内にある者に対する有料のあいさつ広告を出すこと。

# 常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、8月下旬発行予定の6月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

## 総務委員会

問

伊東市税賦課徴収条例に関し、不利益処分を行う際の理由の付記に係る改正理由を伺う。

答

申請に対する不許可や差し押さえ等について不利益処分の理由を明示することにより、納税者に対し、処分手続の明確化や適正を図るものである。

問

寄附者から目的や意向が示された寄附を受ける場合の対応について伺う。

答

寄附者から将来にわたる目的を指定された寄附を受ける場合、基金が設置されていなければ一般財源に組み込まざるを得ないことから、今回の体育施設整備を目的とする寄附を受けるに当たり、寄附者の意向が反映されるよう基金を設置し、積み立てることとした。



市民体育センター

## 観光建設委員会

問

特別誘客宣伝事業の内容等について伺う。

答

観光振興のカンフル剤として大手旅行エージェントの窓口職員を対象に実施した過去の事例を参考にしつつも、対象を大手旅行エージェント、マスコミ、映画制作関係の企画担当者等とし、さらに、新商品開発についての提案を求めるなど、時代に適した事業展開を図っていく。

問

道路舗装点検の方法を伺う。

答

わだち掘れやうねり等、道路舗装面の状況について、測定器やカメラ等を用いて点検していく。

問

商店街共同施設設置補助事業の内容について伺う。

答

宇佐美商誠会が実施する放送設備の整備費用の30%以内で補助していく。



宇佐美駅前通りの商店街（宇佐美商誠会）

## 福祉文教委員会

問

伊東市体育施設整備基金設置の目的を伺う。

答

議会を初め従前から多くの要望がされていたことから、総合体育施設の建設を目指し資金をためることが大きな目的である。

また、他の用途例として、体育館等が大きな被害を受けた場合の修繕等に充てることも含め、財政当局と協議し対応していく。

問

シニアプラザ桜木に隣接した駐車場用地について伺う。

答

生涯学習センター中央会館やひぐらし会館の駐車場不足解消のため、利便性を考慮し、フェンスは撤去せず、別に25台の駐車スペースを確保する予定である。



シニアプラザ桜木に隣接する  
駐車場用地

特別委員会中間報告

議会改革特別委員会

予算大綱質疑について検証  
四月二二日、五月二三日  
に委員会を開催した。

この三月定例会において  
試行実施した予算大綱質疑  
を検証するため、各委員等  
から感想、意見等を伺った。  
予算案に係る質疑との点  
では代表質問より明確にな  
った。大綱質疑と一般質問  
とは区別すべき。全予算で  
二〇分では短く、持ち時間  
の延長を求める等の意見が  
あった。

協議に入り、持ち時間の延  
長を求める旨の意見に対し、  
一般質問においても予算案  
に係る質問を認めたため、大  
綱質疑とあわせて七〇分が  
担保され、工夫により効果的  
な質疑が可能であったとし  
て、疑問を呈する旨の意見、  
最も持ち時間の長かった会  
派に対する持ち時間の長さ  
に係る見解等を問う旨の質  
疑には、当該会派の委員から、  
持ち時間の長短に係る判断

は難しいとする旨の  
意見があった。

協議を踏まえ、正副委員  
長において、持ち時間の配  
分と大綱質疑・一般質問と  
を区別することの二点に的  
を絞り、見直し案を作成、  
提案した。

見直し案の概要は、会派  
一人目を二〇分から延長し、  
二人目以降の割り当て時間  
を短縮する。一般質問では、  
決算に係る質問をしないこ  
ととするなどである。

本提案を踏まえ協議に入  
り、一人当たりの持ち時間  
を一律に延長しつつ、上限  
を設ける等の方法もあると  
の意見、本提案は、大会派  
に対して不利な内容である  
として、懸念を示す旨の意  
見、会派への持ち時間の上  
限設定は必要ないとの意見  
等があった。

委員長において意見調整  
を行ったが、一致を見ず、  
九月までに結論を出すとし  
て改めて協議することを諮  
り、異議なく了承された。



議場見学



かがやく富戸っ子  
(富戸小3年生・6月4日)

学・級・目・標

やさしく、思いやりがあって、  
休まないで元気いっぱい、  
仲よくて、チャレンジする  
3年1組

編集後記

去る五月一九日に執行さ  
れた市長選挙の結果、市民  
の皆様の信託を受けた佃市  
長が、三期目の市政運営に  
臨むこととなり、今定例会  
においては、今期四年間の  
佃市政に関する質問も多く  
ありました。

市長同様、議員も市民の  
皆様から信託を受けた者と  
して市政の発展のために努  
めてまいります。  
(委員長)

議会報編集委員会

- 委員長 三枝 誠次
- 副委員長 榎本 元彦
- 委員 長 沢 正
- ” 四宮 和彦
- ” 杉本 一彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号  
TEL (三三二) 一九八一  
FAX (三八) 六九一六

次期九月定例会は八月三〇  
日開会の予定です。